

2022年3月18日

各 位

株式会社 紀陽銀行

大阪芸術大学との産学連携プロジェクトの実施について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、大阪芸術大学（学校法人塚本学院、所在地：大阪府南河内郡、理事長：塚本 邦彦）と産学連携プロジェクトを実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記**1. 連携の経緯**

当行は「銀行をこえる銀行」をめざし、銀行という枠にとらわれないさまざまな地域活性化事業に取り組んでいます。一方、大阪芸術大学は、建学の精神にもとづき、芸術における狭義の創造性にとどまらず、科学技術・産業・交通・通信・政治・行政・その他社会活動全般にわたり創造性を推奨し、柔軟に広義の創造性を発揮できる人材の育成に力を入れています。

昨年に引き続き、大阪芸術大学と学生のデザイン力やアイデアを地域活性化に活かす産学連携プロジェクトを実施し、デザイン学科の授業内課題として、社内誌の表紙イラストおよび「地域との価値共創」を表現したデジタルサイネージ画像のデザインを学生から募集し、最優秀作品3作品を決定しました。

2. 概要

連 携 学 科	デザイン学科・グラフィックデザインコース
プロジェクト名称	紀陽銀行×大阪芸術大学 社内誌の表紙イラストの制作および「地域との価値共創」を表現したデジタルサイネージ画像の制作
プロジェクト期間	2021年11月～2022年3月
制 作 課 題	① 紀陽銀行社内誌の表紙イラストのデザイン テーマ：「夏」＋「和歌山」 ② なんばスクエア ^(※) のデジタルサイネージのデザイン テーマ：「紀陽銀行」＋「ロカリスト」＋「地域・地元企業」のコラボレーション拠点であるイメージ (①、②の中からそれぞれ最優秀賞を決定)

(※) なんばスクエアは、当行と地域商社「ロカリスト」が連携し、2021年6月24日に「地域との価値共創拠点」へとリニューアルした当行営業拠点であり、ロカリストが和歌山県の特産品の販売やプロモーションをおこなうことで、地域活性化に取り組んでいます。デジタルサイネージは、なんばスクエア前に設置しています。(所在地：南海なんば駅2階 中央改札口外)

3. 最優秀賞

(1) 紀陽銀行社内誌の表紙イラストのデザイン

最優秀賞を受賞したデザインは、2022年夏（第194号）に採用予定です。

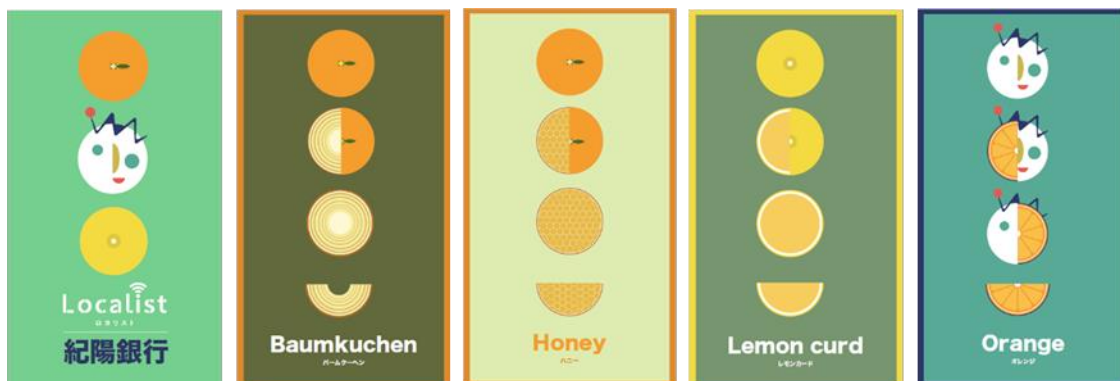
<最優秀賞：荒川 芙生さん>



(2) なんばスクエアのデジタルサイネージのデザイン

最優秀賞を受賞したデザインは、なんばスクエアのデジタルサイネージで放映予定です。

<最優秀賞：岸 雄吾さん>



<最優秀賞：永野 さくらさん>



<表彰式の様子>



2022年3月16日、大阪芸術大学にて表彰式をおこないました

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

